

各位

上場会社名 株式会社 ホープ
 代表者 代表取締役社長 政場 秀
 (コード番号 1382)
 問合せ先責任者 取締役経営管理部長 馬場 文秀
 (TEL 0166-83-3555)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年8月5日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2022年6月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2021年7月1日～2021年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,520	77	77	64	85.14
今回修正予想(B)	1,340	87	88	68	90.23
増減額(B-A)	△180	10	11	3	
増減率(%)	△11.9	13.3	14.7	6.0	
(ご参考)前期第2四半期実績(2021年6月期第2四半期)	1,502	17	19	16	21.77

2022年6月期通期連結業績予想数値の修正(2021年7月1日～2022年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,849	135	135	111	146.77
今回修正予想(B)	2,668	146	146	121	159.59
増減額(B-A)	△180	10	11	9	
増減率(%)	△6.3	7.6	8.3	8.7	
(ご参考)前期実績(2021年6月期)	3,039	106	109	108	142.17

2022年6月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(2021年7月1日～2021年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,446	78	77	65	85.94
今回修正予想(B)	1,290	85	85	67	88.34
増減額(B-A)	△176	6	7	1	
増減率(%)	△12.0	8.9	10.2	2.8	
(ご参考)前期第2四半期実績(2021年6月期第2四半期)	1,457	16	17	15	19.79

2022年6月期通期個別業績予想数値の修正(2021年7月1日～2022年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,736	124	124	104	136.68
今回修正予想(B)	2,560	131	131	110	145.06
増減額(B-A)	△176	6	7	6	
増減率(%)	△6.4	5.6	6.4	6.1	
(ご参考)前期実績(2021年6月期)	2,947	98	100	102	134.29

修正の理由

(第2四半期累計期間連結業績予想修正の理由)

主力であるいちご果実・青果事業のいちご果実販売において、売上高が当初予定を下回ることとなりました。この要因は、当社の方針として、売上高があつたとしても、いちご果実販売全体の利益を圧縮する固定価格での取引の一部を行わないことで、利益の確保を優先させたことによるものであります。これにより、クリスマス期を含む12月のいちご果実の販売数量が減少したことで、売上高が減少いたしました。

利益面は、クリスマス時期にかけての市場へのいちご果実の入荷量が潤沢であつたことに加え、利益を圧縮する要因を回避したこと、また運送費をはじめとした経費削減に努めたことで当初予定を上回っております。

以上の理由により、第2四半期累計期間連結業績予想を修正いたします。

(通期連結業績予想修正の理由)

主力であるいちご果実・青果事業においては、いちご果実の最需要期であります12月のクリスマスの影響により第2四半期連結会計期間までの仕入及び販売が、他の四半期連結会計期間に比べ多くなる季節的変動があります。また、馬鈴薯事業において販売の中心となる春作種馬鈴薯は、販売時期が第2四半期連結会計期間に集中する傾向にあります。このため、第2四半期までの業績を踏まえて下半期の見通しを勘案した結果、売上高については、第2四半期までの落ち込みをカバーするには至らないと予想されることから、連結の業績予想を上記のとおり修正いたします。

(第2四半期累計期間個別業績予想修正の理由)

第2四半期累計期間連結業績予想修正の理由と同様であります。

(通期個別業績予想修正の理由)

通期連結業績予想修正の理由と同様であります。

以上